

1999年5月10日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

日本初、貼る 禁煙補助薬 「ニコチネル®TTS®」5月に新発売

ノバルティス ファーマ株式会社（社長：通筋 雅弘）は、5月12日に、日本で初めての貼付型 禁煙補助薬「ニコチネル®TTS®」（一般名：ニコチン）を医家向けに新発売いたします。

ニコチネル®TTS®は、タバコ葉から抽出したニコチンを、経皮を通して供給する製剤として、禁煙補助を目的に開発した経皮吸収剤です。国外では、ノバルティス ファーマ社が1990年5月にスイスで初めて発売しました。それ以降、世界60カ国以上で承認され、安全性と有効性が高く評価されています。

日本においても、循環器疾患などの基礎疾患を持つ患者さんで、医師により禁煙が必要と判断された喫煙者の、禁煙の補助に対して効能・効果が認められました。ニコチネル®TTS®は、禁煙スタート時のニコチン離脱症状を軽減し、禁煙の成功率をアップさせるなど、禁煙を効果的にサポートする日本初のニコチンパッチ製剤です。本剤の使用と禁煙指導を組み合わせることにより高い禁煙成功率が得られます。

日本では、従来、ニコチン置換療法に使用できる薬剤は、ガム製剤に限られていましたが、今回のニコチネル®TTS®の発売により、貼付剤による治療が可能になりました。禁煙指導を行っている医師や患者さんにとっては、ニコチネル®TTS®の発売は、使用法が簡便で、薬剤選択の幅も広がるなど、臨床上のメリットが期待されます。

本剤の副作用は、国内承認時集計で747例中248例（33.2%）に局所症状が報告され、また全身症状は140例（18.7%）に認められています。主な局所症状は紅斑（20.2%）、掻痒（18.1%）などで、主な全身性のものは不眠（6.8%）などでした。

「タバコは病気の原因の中で、最大の予防できる単一の原因（WHO）」と言われており、喫煙関連疾患の予防と治療には禁煙が非常に重要とされています。

また、多くの疫学的研究から、喫煙は、高コレステロール血症、高血圧とともに虚血性心疾患の3大リスクファクターの1つであることが明らかになっています。

ノバルティス ファーマ株式会社は、ニコチネル®TTS®の発売により、高コレステロール血症治療薬「ローコール®」、高血圧症治療薬「チバセン®」とともに、虚血性心疾患の3大リスクファクターすべてをカバーできる製品ラインナップを有することになります。

本件に関するお問い合わせ先：

ノバルティス ファーマ（株）広報グループ 喜多 TEL: 03-3797-8027 FAX 03-3797-4367